

テーマ：多職種連携の推進・地域包括ケアシステムの構築に向けた在宅医療の推進

現状

ステージ

【昨年度意見】

- ・24時間対応を行っている医療機関の把握が必要。
- ・医療コーディネーターが在宅医療を行う医師・医療機関の支援を実施
- ・より一層の効率的な医療機関連携が必要

提供体制

- 訪問診療を実施する診療所数 174
- 在宅療養支援診療所数 161
- 在宅療養支援歯科診療所数 98
- 在宅患者調剤加算薬局数 131
- 在宅療養支援病院数 11
- 在宅療養後方支援病院数 2
- 訪問看護ST数 81
- 退院支援加算を算定する病院 21
- 入院機関とケアマネ連携数 1,213
- 在宅看取りを実施する診療所数 24

短期(3年後)

ステージ

課題

- ①在宅医療資源の更なる把握
- ②在宅医療を行う医療機関の充実、支援
- ③医療機関間及び多職種間の連携推進
- ④在宅医療に関する市民啓発

めざす姿

具体的な対応策

- ①在宅医療機関等の状況把握、既存の医療資源マップ等の整理統合、適宜更新
- ②在宅医療に関する情報提供、課題抽出、研修実施
 - ・在宅医療支援の在り方、方向性について検討
 - ・「堺地域医療連携支援センター」による支援
- ③在宅医療実施医療機関の情報交換会、医療・介護の多職種による意見交換会等の開催
 - ・「堺市における医療と介護をすすめる関係者会議(いともネットさかい)」の活動
- ④在宅医療講演会、公開講座の開催等

中期(6年後)

ステージ

課題

- ①在宅医療資源の更なる把握
- ②在宅医療を行う医療機関の質の向上に向けた支援
- ③医療機関間及び多職種間の連携推進
- ④在宅医療に関する市民啓発

めざす姿

具体的な対応策

- ①在宅医療機関等の状況把握、既存の医療資源マップ等の適宜更新
- ②「堺地域医療連携支援センター」による支援
 - ・在宅医療の実施医療機関への後方支援体制について検討
- ③在宅医療実施医療機関の情報交換会、医療・介護の多職種による意見交換会等の開催
 - ・「堺市における医療と介護をすすめる関係者会議(いともネットさかい)」の活動
- ④在宅医療講演会、公開講座の開催等

あるべき姿

- 在宅医療の需要に応じたサービス量の確保
- 在宅医療の質の向上
- 地域包括ケアシステム構築に向けた体制の整備

提供体制

- 訪問診療を実施する診療所数 266
- 在宅療養支援診療所数 235
- 在宅療養支援歯科診療所数 131
- 在宅患者調剤加算薬局数 183
- 在宅療養支援病院数 16
- 在宅療養後方支援病院数 3
- 訪問看護ST数 118
- 退院支援加算を算定する病院 29
- 入院機関とケアマネ連携数 1,857
- 在宅看取りを実施する診療所数 37

基金事業の提案

背景

病病・病診連携の強化により、患者の状態に合った医療を適切かつ円滑に提供する体制の整備が急務。



地域医療介護総合確保基金を活用した、ICTシステムの構築

課題

- ・二次医療圏域内で同一システムを構築しないと、連携が非効率である。
- ・地域医療介護総合確保基金は、医療機関が申請者であり、統一したシステムを構築、運営していくには、制度改正が必要。

提案

- ・事業申請者を、医療機関のみならず他の団体(市町村等)も対象とする。
- ・システム導入時のみならず、構築後の運営経費も基金対象とする。

効果

ICTシステムの構築により、病病・病診連携の強化により、患者の状態に合った医療を適切かつ円滑に提供することが可能となる。